



礼文高等学校 生徒会長
山内 響 (3年)

この礼文島は人口約2,500人の小さな島ですが、活気とやさしさあふれる素晴らしい島です。また礼文島は自然豊かで、通常2,000m以上の山々でしか咲かないような植物が平地で咲き、固有種のレブンアツモリソウなどが自生していたりなどの特長のある自然環境を持った島でもあります。このような環境を活かした学びを礼文高校

ではできます。礼文はどこからでも海を見ることができ、もちろん、礼文高校の校舎からも壮大な利尻富士や日本海を眺めることができます。礼文高校はこの自然を使った独自の授業や、海外交流事業など他の普通高校にはないようなことがたくさんあります。礼文島についての学習や、アメリカでの留学など一生に一度の体験ができる学校です。また、生徒同士の仲がよく学年の壁がないとても生活しやすい学校です。ぜひ、私達と一緒に礼文島で、礼文高校で一生に一度の思い出をつくりましょう。



最北れぶん留学生 寮生代表
掃部 暁里 (1年)

礼文島に来て一番驚いたこと、それは先生との距離が近いことです。やはり1クラスの人数が少ないので必然的に先生や、先輩との仲が深まっていきます。今、僕は寮生活、学校生活ともに楽しいです！海、山、そして先生、人が近いこの礼文にぜひ来てみてください。

礼文高校 主な行事

- 4月 ■始業式・入学式 ■対面式・生徒総会
■防犯・交通安全&薬物乱用防止講話
■ネットトラブル防止講話
- 5月 ■全島一斉クリーン作戦 ■高体連・高文連壮行会
■AED講習会・進路面談
- 6月 ■前期中間考査 ■礼高クリーン&グリーン作戦
■宿泊研修(1年) ■職場体験実習(2年)
- 7月 ■職場体験実習発表会 ■学校祭
- 8月 ■夏季体育大会 ■芸術鑑賞・進路面談
- 9月 ■前期期末考査 ■礼文町海外交流事業
- 10月 ■個人面談・進路講話 ■見学旅行(2年)
- 11月 ■礼文学発表会 ■後期中間考査
- 12月 ■冬季体育大会 ■進路講話
- 2月 ■スキー授業 ■後期期末考査(1・2年)
- 3月 ■卒業式

最北 礼文 留学

海の向こうには
新しい世界が
待っている。



2021年度
入学生
全国募集!

北海道礼文高校では全国から入学生を募集しています。

礼文島へのアクセス

[飛行機]

- 羽田 ▶ 稚内 1時間55分
- 中部国際 ▶ 新千歳 1時間40分
- 関西国際 ▶ 新千歳 1時間50分
- 広島 ▶ 新千歳 1時間55分
- 福岡 ▶ 新千歳 2時間20分
- 新千歳 ▶ 稚内 1時間
- 新千歳 ▶ 利尻 1時間 ※季節運行6月~9月
- 丘珠 ▶ 利尻 1時間

[フェリー]

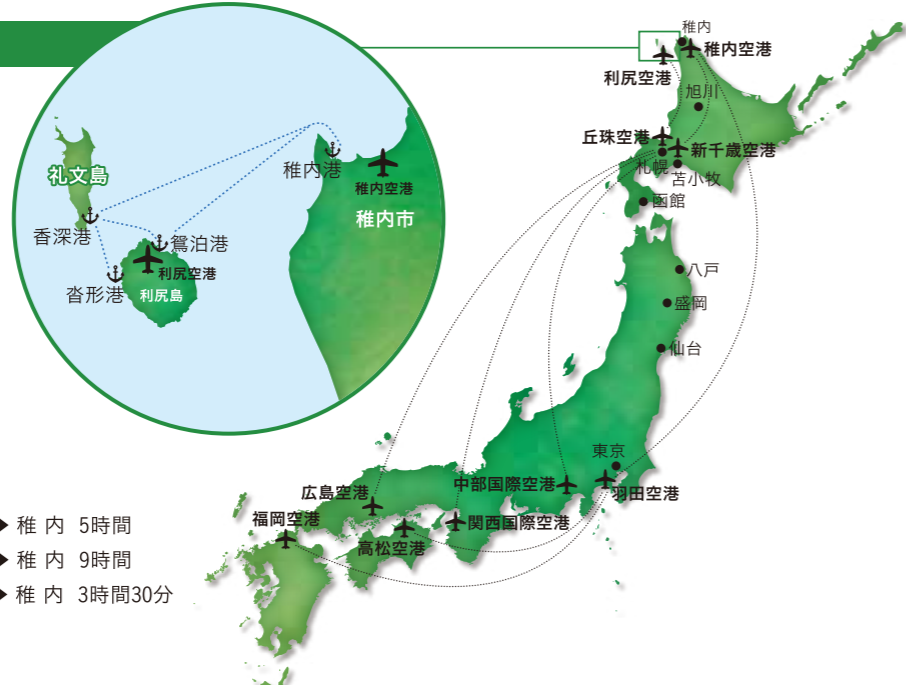
- 稚内 ▶ 礼文 1時間55分
- 利尻 ▶ 礼文 45分

[都市間バス]

- 札幌 ▶ 稚内 5時間50分

[JR]

- 札幌 ▶ 稚内 5時間
- 函館 ▶ 稚内 9時間
- 旭川 ▶ 稚内 3時間30分



お問い合わせ・オープンスクール申込先

礼文町教育委員会 高校支援室

〒097-1201
北海道礼文郡礼文町大字香深村字ワウシ958番地4
礼文町町民活動総合センター「ピスカ21」内
TEL 0163-86-2119 FAX 0163-86-1790
MAIL gakkan@town.rebun.hokkaido.jp



最北れぶん留学公式

北海道礼文高等学校

〒097-1111
北海道礼文郡礼文町大字船泊村
字ヲチカフナイ27番地
TEL 0163-87-2358 FAX 0163-87-2301
MAIL rebun-z0@hokkaido-c.ed.jp



礼文高等学校公式

要事前
申込

OPEN SCHOOL

-礼文高校オープンスクール-

見て、聞いて、感じる。じぶんらしい未来への一歩。

2020年8月26日(水) 13:00~

※日時は変更になる場合がございます。



太古の自然が残る 日本最北の離島、礼文島。

日本の最北端に位置する離島・礼文島。北海道では稀にみる澄んだブルーの海を有した、人口約2,500人の小さな島です。この島には、奇跡的な自然が今なお存在し、太古からの遺跡が数多く残されています。ここには、自然と人間が寄り添うように育んできた、豊かな時間が流れています。



れぶん島で じぶんらしい 未来探し。

礼文島ならではの学び。それは島の自然、文化、産業すべてが学生にとっての学びの糧であること。ほかの環境では咲くことが出来ない小さな花々にも目を向け、太古の人々の遺跡にそっと近づいてみる。海の恵みを生活の場に送り出すまでを、実体験を通して学ぶ。地に足を付けた知識をじっくり蓄え、感性を磨き、これからの世界に旅立つ力を育めるよう、島全体が応援します。卒業する頃には、きっと一人ひとりが礼文島の専門家。じぶんらしい未来を、最北れぶん留学でみつけてみませんか。



島ならではの海岸線 果てなく広がる礼文ブルー

南国のような、鮮やかな青い海は、「礼文ブルー」と呼ばれています。礼文島の西海岸には、北海道でも指折りの透明度を誇る海を望む岬や海岸線がいくつもあり、その美しさに魅了され、何度も来島する人も。この海は、太古から続く礼文の宝物です。



高山植物が咲き誇る 花の浮島

春から秋にかけて、およそ300種類の花々が咲き乱れるこの島は、「花の浮島」とも呼ばれています。本州では約2,000mの山岳地帯でないと見られない希少な高山植物が海拔0mから見ることができ、ここでしか見られない固有種も多数存在する、珍しい島です。



寒流と暖流が交わる 海の幸の宝庫

礼文島の海の魅力は、美しさだけではなく、暖流と寒流が交差し、魚の種類が豊富で古くから漁業が盛んな島です。礼文島産のウニやコンブは、高級食材として全国にその名を馳せています。



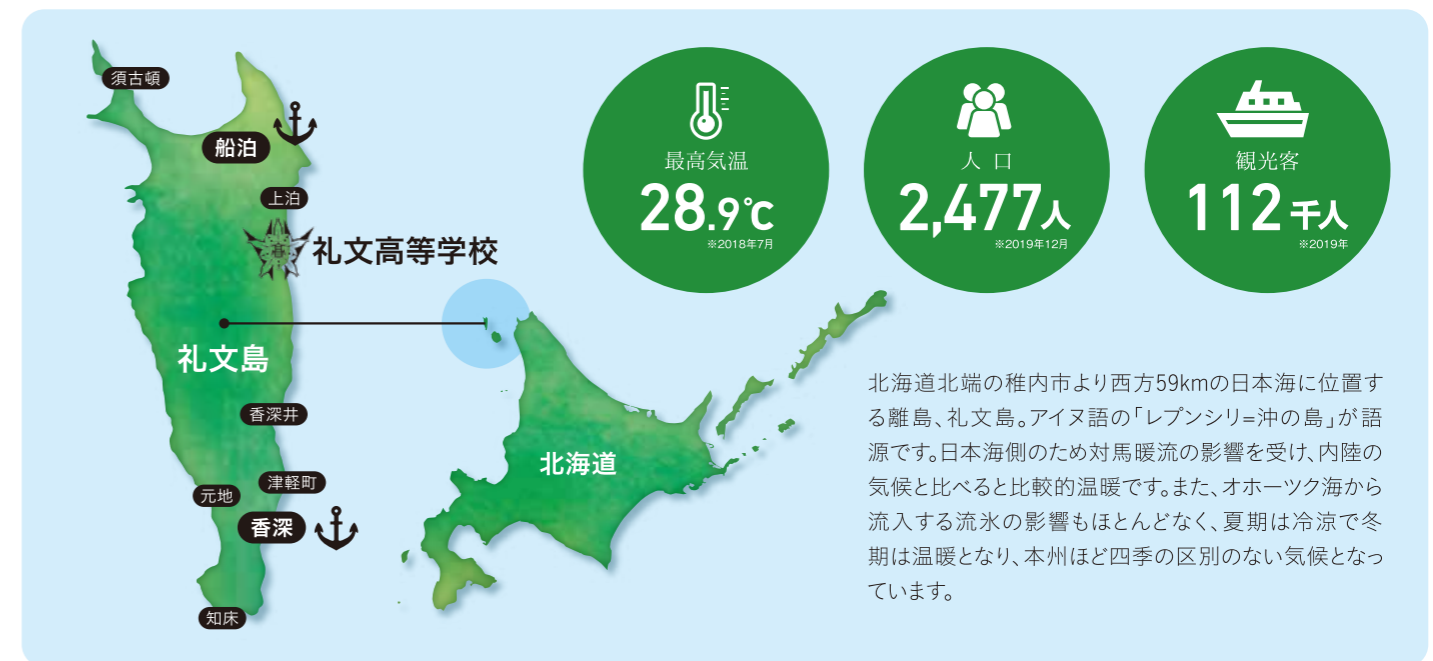
古代のロマン溢れる 最北の縄文遺跡

これまでに55ヶ所もの遺跡が見つかった礼文。国の重要文化財に指定された縄文の出土品、北海道ならではのオホーツク文化やアイヌ文化の遺跡に接することができるのは礼文だからこそ。数千年前から人々が行き交う北の島のロマンを肌で感じることができます。



海外にも人気の 最北の離島観光地

豊かで希少な自然環境や、古代遺跡の数々。島の一周が72kmほどの小さな島にたくさんの魅力が詰まった礼文島には、毎年多くの観光客が訪れ、アメリカやイタリア等の欧米、東南アジアからの外国人観光客も年々増加しており、観光の島として成長しつつあります。



北海道北端の稚内市より西方59kmの日本海に位置する離島、礼文島。アイヌ語の「レブンシリ=沖の島」が語源です。日本海側のため対馬暖流の影響を受け、内陸の気候と比べると比較的温暖です。また、オホーツク海から流入する流水の影響もほとんどなく、夏期は冷涼で冬期は温暖となり、本州ほど四季の区別のない気候となっています。



礼文ならではのカリキュラム

海を越えての国際交流も。

礼文高校の校訓のひとつである「進取」。自分から進んで物事をする、その姿勢をカリキュラムに色濃く取り入れ、実体験を通じた授業、異文化に触れる国際交流などを積極的に行っています。



海外交流事業

「グローバルな視点と豊かな国際感覚を育む」という目的の下、アメリカ・カリフォルニア州の国際都市ロサンゼルスを訪ねます。例年2週間、ホストファミリーのもとで短期ホームステイ留学をし、現地の高校生との交流や現地の自然を体感。海外の文化や語学、自然に対して理解を深める貴重な体験となります。海外交流でのさまざまな活動を通して日本、そして礼文島を客観的にとらえ、故郷の価値を再確認することができます。

留学先 | アメリカ・カリフォルニア
 時期 | 9月中旬～下旬(2週間)
 滞在形態 | ホームステイ
 対象生徒 | 全1年生

*留学時期は、年度によって前後する場合があります。



高山植物

礼文に生育する高山植物群を中心とした植物の観察、実験、実習を通して自然保護に対する関心を持ち、礼文の自然について広く学びます。その知識を活かして、希少な草花を楽しみに訪れる観光客へ高山植物や島の環境についてボランティアガイド(2年生)を行い、礼文島の魅力を発信します。



フィールドワーク

海に囲まれた礼文島ならではの釣りや、希少な高山植物を有する礼文のトレッキング等、アウトドアに関するアクティビティの学習や浜中遺跡から縄文文化やオホーツク文化について学びます。その他にも、浜中遺跡を研究する大学、海外研究者と連携した発掘調査や出前授業なども予定しています。



自然と観光ガイド

礼文の自然を観察・実験を行うことで身近な事物・現象に対して探究を行い、データを分析して自ら課題解決を提案できる力を身につけます。得た知識からガイドとして伝えるための心得や新たな観光資源について考え、日本語だけでなく英語で発信する技術について学びます。



観光大使活動

礼文島観光協会から観光大使の委嘱を受け、見学旅行先で礼文島のPRを行います。礼文島のパンフレットや昆布、高山植物の種等を配布するなど、礼文島の自然の豊かさを広める活動です。事前に地域の自然や産業について調べることで、より深く礼文の資源について学ぶことができます。



生活産業基礎

身近な衣食住、ヒューマンサービスに関する生活産業や職業への関心を高め、必要な知識と技術を習得します。礼文の主な産業である、水産業と観光業を通して生活を支える産業とは何か、職業観やライフスタイルの変化について学びます。



北方食文化の研究と開発

礼文に伝わる食文化を理解するため、日本や地域、世界の食材・食文化を学び、豊かな海産物資源を活かした新たな土産物や御当地メニューの開発に取り組みます。礼文の資源と島外とのつながりを生み出す学びの場です。

特色ある礼文の教育カリキュラム

	1年	2年	3年
礼文島の研究	高山植物	水産海洋基礎 生活産業基礎	北方食文化の研究を開発 フィールドワーク
地域と協働した観光地域づくり		自然と観光ガイド	
英語力を活かした情報発信	海外交流事業 ▶ロサンゼルス留学(2週間)	ALT*を活用した外国語授業の充実 WebやSNS、動画サイト等による情報発信	

Use English to expand your horizons!
 話せる英語で世界を広げよう!

[ALT講師]
 クリストファー・ブラウン
 アメリカ・ミシガン州出身。平成25年度から礼文町のALT講師として勤務。趣味は写真。礼文の自然に魅せられ、風景写真を撮り続け、礼文町が行ったフォトコンテストでは、グランプリを受賞。



*Assistant Language Teacherの略。小中高等学校の語学の授業を行う日本人教師の補佐を行い、「生きた英語」を生徒たちへ伝えるために派遣される外国語指導助手のこと。

約9割の生徒が部活動と勉強を両立

運動部・文化部への入部率は約9割。勉強との両立を図りながら、少人数だからこそその結束力を発揮し、伸び伸びと部活動に参加できます。

- 運動部 ■バスケットボール(男子) ■バドミントン部(男・女) ■陸上部(男・女) ■卓球部(男・女)
- 文化部 ■書道部(男・女) ■軽音楽部(男・女)
- 外局 ■放送局(男・女)





充実した就学支援制度で

学費面などの負担を軽減。

新しい出会い、新しい学び、新しい環境。

そこには不安や負担がつきものです。

本校では学生のみならず保護者の方々も安心できる支援制度を豊富に設けることで、不安や負担を減らし、充実した3年間を過ごせるようサポートします。

🌀 れぶん留学生のための学生寮

礼文島ならではの環境を活かした学生寮「ポラリス」が、2020年4月に開設しました。青く広がる海が見下ろせる立地で、寮生とのコミュニケーションを図るスペースも設けられています。食事は朝と夜の2食付きで、大浴場も完備。月額30,000円で入寮することができ、昼食やバス代なども助成され、心身ともに安心して勉学に励む環境が整っています。近くに総合体育館、緑ヶ丘公園があるので、休日には友達と運動して汗を流す楽しみも。仲間とともに、かけがえのない3年間をここで過ごしてみませんか。



🌀 資格取得費助成

学習意欲の高い学生や資格試験に積極的な学生には、様々な資格*取得のための助成金が設けられています。町内で受験することのできない検定試験を町外で受ける場合は、フェリー往復交通費の全額、陸路の交通費や宿泊費も一部助成されます。少人数制、集中して学べる静かな環境を活かし、多くの資格を取得することが可能です。



日本漢字能力検定

数学検定

ビジネス文書実務検定

全商情報処理検定

実用英語技能検定

危険物取扱者

硬筆毛筆検定

ニュース時事能力検定

全商簿記実務検定

日商簿記検定

介護職員初任者研修

小型船舶免許2級

*礼文高等学校が推奨している検定試験等で礼文高等学校長が受験の必要があると認めた資格

1 2

半額助成

🌀 帰省交通費助成

生徒が帰省する際にかかる往復交通費の半分を礼文町が助成(上限50,000円)しています。年4回まで利用可能で、帰省にかかる負担も軽減。春・夏・秋・冬の長期休暇ごとに帰省することが出来るので、安心して通うことができます。

🌀 保護者来島交通費助成

子どもがどのような環境で学んでいるのかは、ご家族にとっても重要な問題です。そのため、町外に住む保護者来島の往復交通費の半分を礼文町が助成(上限50,000円)しています。年2回まで利用が可能で、生徒の成長を現地で見ることが出来ます。



🌀 昼食費助成

礼文高校での昼食費1食分の半額(250円)を助成しています(夏・冬休みを除く)。親元から離れても食をおろそかにしないよう、学生のためのサポートをしっかりと用意しています。



🌀 バス運賃助成

島内を行き来するのに、移動には欠かせない公共交通機関のバス。礼文高校に通学する生徒には1カ月の定期券運賃3,000円を控除した額が助成されます。風雨、風雪を心配することなく通学できる環境です。



最北の小さな島で大きな空がある

礼文高校は日本最北端「花の浮島」礼文島にあり、校訓である「誠実・進取」のもと、学校教育目標でもある「自ら学び創造する、自ら考え実践する、自ら鍛え他者への思いやりを大切にする」生徒像を目指しています。この生徒像を目指すために、地域の方々からの多大なるご支援やご協力をいただきながら、誇り高い伝統を築いて参りました。教育活動については、生徒一人ひとりを大切にしながら丁寧かつ対話を重視した指導を基本としています。生徒の学力向上を図る取組として、習熟度別学習指導やチームティーチングなど、少人数の特性を生かしたきめ細かな指導を行っています。また、文部科学省の研究開発学校の指定事業を活用した遠隔授業により、教育水準の向上を図るなど、生徒の進路目標の実現を達成させています。礼文町からの支援事業の一つであるアメリカへの海外交流事業に参加した生徒は、国際的な感覚や異文化理解を深めるとともに、ふるさと礼文はもとより北海道やわが国の良さを改めて理解するなど貴重な経験を積んでいます。最北の小さな島、そして自然豊かな大きな空の礼文でなければ体験できないことが多々あります。この体験がみなさんの今後の人生に必ず生かされるはず。他では学べない学びがこの礼文高校にはあります。教職員一丸となり、生徒一人ひとりの可能性を引き出す学校づくりに努めて参ります。



礼文高等学校長

齋藤 雄大

沿革

- 1978(昭和53) 北海道稚内高等学校礼文分校として開校
- 1980(昭和55) 北海道礼文高等学校として独立
- 1992(平成4) ロシアサハリン州ユジノサハリンスク市との交流事業開始
- 1997(平成9) 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校に指定
- 2002(平成14) 宗谷教育局長から教育実践研究表彰を受賞
- 2005(平成17) 環境保全活動功労者表彰を受賞
- 文部科学省 国語力向上モデル事業に指定
- 宗谷管内教育実践表彰を受賞
- 2008(平成20) 北海道教育実践表彰(学校表彰)を受賞
- 地域とともに学ぶ高等学校環境教育推進事業に指定
- 2011(平成23) 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞
- ユネスコ・スクール加盟
- 千歳科学技術大学との高大連携協定を締結
- 2012(平成24) 礼文町海外交流事業開始(アメリカ・カリフォルニア州)
- 2018(平成30) 北海道ふるさと・みらい創生推進事業「高等学校OPENプロジェクト」研究指定校
- 2019(令和元) 新入生全国募集を開始
- アメリカ・カリフォルニア州 John Muir Middle Schoolと姉妹校協定を締結

過去3年間の主な進路実績

[進学先]

- 北海道情報大学 ■北翔大学 ■室蘭工業大学 ■名寄市立大学 ■札幌大学
- 北海道千歳リハビリテーション大学 ■北海道教育大学 旭川校 ■旭川大学
- 国立宮古海上技術短期大学校 ■せいとく介護こども福祉専門学校
- 札幌青葉鍼灸柔整専門学校 ■北海道製菓専門学校
- 札幌医療秘書福祉専門学校 ■札幌商工会議所付属専門学校

[就職先]

- 礼文町役場 ■藤建設株式会社 ■船泊漁業協同組合 ■稚内信用金庫
- オーセントホテルズ株式会社 ■礼文町社会福祉協議会 ■香深漁業協同組合

0

全額助成